

別表1-1 産地交付金における生産性向上等技術メニュー 一覧

飼料用米(多収品種)	米粉用米
<ul style="list-style-type: none"> ・直播栽培(播種量4kg以上/10a) ・疎植栽培(最低株数37株/坪) ・不耕起田植え技術 ・高度施肥管理 (土壌診断・葉色診断に基づく施肥管理) ・共同施設・機械の稼働率の向上 ・稲わらの鋤込みや堆肥施用等による土づくり (作業日誌及び写真の提出) (稲わら600kg/10a、堆肥1.2t/10a) ・プラウ耕等による根圏の拡大 ・無代かき移植栽培 ・プール育苗 ・複合作業機械(耕起・播種・施肥同時作業機)の導入 ・効率的施肥管理(側条施肥による施肥) ・自動水管理装置の利用 ・密播、密苗(最低播種量200g/箱苗) ・大区画又は集約化した圃場(80a以上)の利用 ・温湯種子消毒による薬剤費の削減 ・乳苗移植栽培 ・GNSSによる自動操舵補助システムの利用 ・立毛乾燥 	<ul style="list-style-type: none"> ・直播栽培(播種量4kg以上/10a) ・疎植栽培(最低株数37株/坪) ・不耕起田植え技術 ・高度施肥管理 (土壌診断・葉色診断に基づく施肥管理) ・共同施設・機械の稼働率の向上 ・稲わらの鋤込みや堆肥施用等による土づくり (作業日誌及び写真の提出) (稲わら600kg/10a、堆肥1.2t/10a) ・無代かき移植栽培 ・プール育苗 ・複合作業機械(耕起・播種・施肥同時作業機)の導入 ・効率的施肥管理(側条施肥による施肥) ・自動水管理装置の利用 ・密播、密苗(最低播種量200g/箱苗) ・大区画又は集約化した圃場(80a以上)の利用 ・乳苗移植栽培 ・GNSSによる自動操舵補助システムの利用 ・立毛乾燥

別表1-2 産地交付金における生産性向上等技術メニュー 一覧

麦・大豆	そば
<ul style="list-style-type: none"> ・foeas(フォアス)又は本暗渠 ・弾丸暗渠(大豆) ・土壌改良材の投入 (麦は土壌診断に基づき、9月上旬～中旬に目安量として 燐硝安加里1号を53kg/10a、尿素を9kg/10a施用すること。) (大豆は土壌診断に基づき、5月上旬に目安量として高度 化成484を40kg/10a、尿素を10.8kg/10a施要すること。) ・大豆作前の緑肥作物の導入 ・小明渠作溝同時浅耕播種 ・新品種の導入 ・不耕起播種技術 ・耕うん同時畦立て播種(麦) ・耕うん同時畝立て播種(大豆) ・高度施肥管理(土壌診断・葉色診断に基づく施肥管理) ・病害虫抵抗性品種の導入 ・プラウ耕等による根圏の拡大(麦) ・効率的施肥管理(側条施肥による施肥) ・心土破碎 ・追肥重点型施肥(麦) ・GNSSによる自動操舵補助システムの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・foeas(フォアス)又は本暗渠 ・弾丸暗渠 ・土壌改良材の投入 (土壌診断に基づき、7月下旬に目安量として高度化成 484を14.3kg/10a施要すること。) ・新品種の導入 ・GAPの導入 ・農業環境規範の実施 ・肥効調節型肥料の施肥 ・病害虫抵抗性品種の導入 ・プラウ耕等による根圏の拡大 ・複合作業機械(耕起・播種・施肥同時作業機械)の導入 ・種子更新 ・施肥同時播種 ・ドリル播 ・共同機械の利用 ・そば作付前の緑肥作物の導入 ・GNSSによる自動操舵補助システムの利用

別表1-3 産地交付金における生産性向上等技術メニュー 一覧

WCS用稲	WCS用稲
<ul style="list-style-type: none"> ・不耕起田植え技術 ・共同施設・機械の稼働率の向上 ・高度施肥管理 (土壌診断・葉色診断に基づく施肥管理等) ・稲わらの鋤込みや堆肥施用等による土づくり (作業日誌及び写真の提出) (稲わら600kg/10a、堆肥1.2t/10a) ・乳苗移植栽培 ・プラウ耕等による根圏の拡大 ・無代かき移植栽培 ・プール育苗 ・複合作業機械(耕起・播種・施肥同時作業機械)の導入 ・大区画又は集約化した圃場(80a以上)の利用 ・GNSSによる自動操舵補助システムの利用 	

別表2 花き一覧表

分類	作物名	前年度(令和3年度) 作付面積(ha)
花き	アスター	0.17
花き	カーネーション	0.36
花き	カスミソウ	0
花き	キク	8.34
花き	シクラメン	0.65
花き	デルフィニューム	0.04
花き	トルコギキョウ	1.4
花き	ハス	0.67
花き	ヒマワリ	0
花き	ユリ	0.41
合計		12.04

別表3 地域振興作物:野菜・果樹・その他作物一覧表

分類	作物名	前年度(令和3年度) 作付面積(ha)	
		作物名毎	分類毎
野菜	アスパラガス	0.86	34.98
野菜	イチゴ	1.94	
野菜	インゲン	0.48	
野菜	エダマメ	2.19	
野菜	オクラ	0	
野菜	カボチャ	11.01	
野菜	キクイモ	0.48	
野菜	キヌサヤエンドウ	0.17	
野菜	キャベツ	0.12	
野菜	コマツナ	0.16	
野菜	サツマイモ	0	
野菜	サヤエンドウ	0	
野菜	シヨクヨウギク	0.06	
野菜	スイカ	0.47	
野菜	スナップエンドウ	0	
野菜	セロリ	0	
野菜	ゼンマイ	0	
野菜	ダイコン	1.05	
野菜	タケノコ	0	
野菜	トウモロコシ	0.32	
野菜	ナガイモ	0	
野菜	ナス	0.42	
野菜	ニンジン	1.10	
野菜	ニンニク	5.21	
野菜	ネギ	5.54	
野菜	ハクサイ	0.08	
野菜	パレイショ	1.97	
野菜	ビーツ	0	
野菜	ミヨウガ	0	
野菜	メロン	1.16	
野菜	ユウガオ	0.08	
野菜	レタス	0.11	
野菜	ウド	0	
果樹	ウメ	0	2
果樹	クリ	0	
果樹	ブドウ	0.41	
果樹	ブルーベリー	0.13	
果樹	リンゴ	1.46	
その他	小豆	0.05	0.89
その他	葉たばこ	0.84	
合計		37.87	

別表4 利用供給協定に含まれるべき事項

各取組における利用供給協定書は、実施する取組の種類に応じて、次の事項を記載するものとします。

1 わら利用（飼料用米生産ほ場の稲わら利用の取組）

- (1) 取組の内容
- (2) わらを生産する者
- (3) わらを収集する者
- (4) わらを利用する者
- (5) ほ場の場所及び面積
- (6)刈取り時期
- (7) 利用供給協定締結期間
- (8) わら取引の条件（作業分担及び品代・経費の負担）
- (9) その他必要な事項

2 資源循環（飼料生産水田への堆肥散布の取組）

- (1) 取組の内容
- (2) 供給される飼料作物の種類
- (3) 飼料作物を生産する者
- (4) 堆肥を散布する者
- (5) ほ場の場所及び面積
- (6) 堆肥の散布時期及び量
- (7) 利用供給協定締結期間
- (8) 堆肥散布の条件（作業分担及び品代・経費の負担）
- (9) その他必要な事項

別表5 飼料作物の範囲

青刈りとうもろこし

青刈りソルガム

スーダングラス

青刈り麦(らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。)

青刈り大豆

子実用えん麦

オーチャードグラス

チモシー

イタリアンライグラス

ハイブリットライグラス

ギニアグラス

オオクサキビ

アカクローバ

シロクローバ

(注) 上記の飼料作物については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛、馬、羊、山羊に供される場合に限ります。

別表6 飼料用米の生産性向上に関するメニューの技術要件と確認資料一覧表

技術名	技術の概要	確認資料等	(参考) 取組の分類
1 団地化（区分管理に限る） （連担の要件は別添参照）	・1.6ha以上の団地、または80a以上の団地が2つ以上の場合で飼料用米等の団地化が図られること。	団地図面又は新規需要米取組計画書（対象水田の地番が添付されているもの）	生産基盤・体制の効率化
2 土地利用集積	・当該農業者自らにより、作業が実施されている飼料用米等に係る作業面積が、80a以上であること。	新規需要米取組計画書又は営農計画書	生産基盤・体制の効率化
3 温湯種子消毒による薬剤費の削減		作業日誌等 又は 温湯種子消毒器の写真	農薬の低減化
4 直播栽培		作業日誌又は水稲共済の加入データ	直播栽培
5 疎植栽培	・青森県稲作改善指導要領の地帯別栽培指標の栽植株数以下の株数（当該指標の栽植株数の半分を下限とする）であること。	作業日誌 又は 確認野帳	疎植栽培
6 不耕起田植え技術		機械作業の写真 又は 作業日誌	不耕起栽培
7 高度施肥管理（土壌診断・葉色診断に基づく施肥管理等）		作業日誌 又は 診断結果	肥料の低減化
8 共同施設の稼働率の向上	・作業日誌により、前年度と比較して稼働率が増加していること。	作業日誌	—
9 共同機械の稼働率の向上	・作業日誌により、前年度と比較して稼働率が増加していること。	作業日誌	農業機械の共同利用
10-1肥効調節型肥料の全量基肥施用	・肥効調節型肥料を本田への全量基肥施用	肥料購入伝票 又は 作業日誌	肥料の低減化
10-2肥効調節型肥料の育苗箱全量施肥	・肥効調節型肥料を育苗箱全量施肥	肥料購入伝票 又は 作業日誌	肥料の低減化
11 共同防除機又はラジヘリによる防除		受託組織等の作業計画書等（ほ場が記載されているもの）	農業機械の共同利用
12 大区画ほ場の利用	・80a以上であること。	水田台帳	特認
13 自動水管理装置の利用		装置の写真	—
14 乳苗移植栽培		作業日誌	育苗・移植作業の省力化
15 大豆跡復元田の活用		前年の確認野帳等	肥料の低減化
16 代かき同時移植栽培		機械作業の写真 又は 作業日誌	育苗・移植作業の省力化
17 無代かき移植栽培		機械作業の写真 又は 作業日誌	育苗・移植作業の省力化
18 紐がら成型マットの活用		購入伝票	育苗・移植作業の省力化
19 水耕ロングマット育苗		育苗施設の写真又は必要資材の購入伝票又は機械作業の写真	育苗・移植作業の省力化
20 ブール育苗		育苗施設の写真	育苗・移植作業の省力化
21 複合作業機械（耕起・播種・施肥同時作業機械等）の導入		機械作業の写真 又は 作業日誌	特認
22 効率的施肥管理（側条施肥、低成分肥料の施肥等）		機械作業の写真 又は 資材購入伝票 又は 作業日誌	肥料の低減化
23 流し込み施肥		処理時の写真 又は 作業日誌	肥料の低減化
24 農業の育苗播種同時処理		機械作業の写真 又は 作業日誌	農薬の低減化
25 農業の田植え同時処理		機械作業の写真 又は 作業日誌	農薬の低減化
26 密播（密苗）		作業日誌	生産コスト低減
27 立毛乾燥	・出穂後の積算日平均気温1,400℃以上となった日以降で収穫すること。	作業日誌	乾燥調整コスト低減、収量向上
28 2段階施肥	・幼穂形成期及びその10日後に速効性肥料を施用すること。	作業日誌	収量向上
29 収穫用排水対策	・明きよ等による排水対策を行うこと。	作業日誌等	コンタミ防止、収量向上

※1技術の概要に記載のない技術については、青森県稲作改善指導要領等によるものとする。

※2対象面積は、飼料用米等作付面積の範囲内で当該技術を導入した面積とする（ただし、団地化を除く）。

別添 団地化における連担の要件

次のいずれかに該当すること

- ① 2つ以上の農地が畦畔で接続しているもの
- ② 2つ以上の農地が農道又は水路等を挟んで接続しているもの
- ③ 2つ以上の農地が各々一隅で接続し、農作業の継続に影響しないもの
- ④ 段状をなしている2つ以上の農地の高低の差が農作業の継続に影響しないもの
- ⑤ 2つ以上の農地が当該農地の耕作者の宅地に接続しているもの
- ⑥ 同じ進入路に面した2つの農地の間に、一筆の農地が存在しているもの
- ⑦ 2つの農地の進入路の間の距離が、どちらかの農地の一辺以下の長さとなっているもの
- ⑧ 2つの農地の進入路の間の距離が、120m以下となっているもの
- ⑨ 農道及び用排水路により囲まれ

五所川原市農業再生協議会 会員名簿

任期：令和3年2月6日から

No.	氏名	役職	郵便番号	住所1	所属・役職
1	一戸治孝	会長	037-8686	五所川原市	五所川原市副市長
2	金澤 榮	副会長	037-0204	五所川原市	金木地域転作集団連絡協議会会長
3	三和金春	副会長	037-0401	五所川原市	市浦土地改良区理事長
4	木村清一	会員	037-8686	五所川原市	五所川原市議会 経済建設常任委員会 委員長
5	森 義博	会員	037-8686	五所川原市	五所川原市農業委員会 会長
6	小田桐 秀壽	会員	037-0614	五所川原市	ごしょつがる農業協同組合 理事
7	泉谷利幸	会員	038-3104	つがる市	つがるにしきた農業協同組合 理事
8	太田勝彦	会員	037-0011	五所川原市	青森県農業共済組合津軽支所 職務代理理事
9	高橋光明	会員	037-0033	五所川原市	五所川原北部土地改良区 理事長
10	寺田幸光	会員	037-0621	五所川原市	五所川原市南部土地改良区 理事長
11	中西清彦	会員	037-0202	五所川原市	小田川土地改良区 理事長
12	奈良睦英	会員	037-0401	五所川原市	農業者代表
13	岩谷 博	会員	037-0057	五所川原市	五所川原市転作集団連絡協議会 会長
14	吉田郁世	会員	037-0207	五所川原市	農業者代表
15	渡邊洋一	会員	037-0088	五所川原市	五所川原市認定農業者協会 会長
16	濱田和人	監事	037-0204	五所川原市	第一種登録出荷取扱業者
17	石岡雅樹	会員	037-0614	五所川原市	ごしょつがる農業協同組合水稲部 会長
18	長利弘貴	会員	037-0309	北津軽郡 中泊町	つがるにしきた農業協同組合津軽北 部水稲部会長
19	境谷一智	監事	037-0093	五所川原市	農業者代表
20	川浪 治	会員	037-8686	五所川原市	五所川原市経済部 部長
21	秋田谷和智	会員	037-0401	五所川原市	五所川原広域水田フル活用推進協議会 会長
22	一戸武二	会員	037-8686	五所川原市	五所川原地域担い手育成総合支援協議会 会長（五所川原市経済部農林水産課 課長）